

学習指導案

指導者 石川 聖

1. 日時・場所 平成25年9月11日(水) 6校時 電気科1年教室
2. 学級 電気科1年 男子36名 計36名
3. 教材教科書名 電気基礎(上) コロナ社
4. 単元 電流の作用
5. 単元の目標 電流による作用(発熱・磁気・化学)について学ぶ。また作用によってどのようなものに使われているかも学ぶ。
6. 単元の指導計画
  - (1) 電力 1時間
  - (2) 電力量 1時間
  - (3) ジュールの法則 1時間
  - (4) 許容電流 1時間(本時1/1)
  - (5) 電気分解 1時間
7. 本時の指導
  - (1) 目標 許容電流について学ぶ。それに関連して電線の処分の仕方について考えさせる。
  - (2) 資料 プリント・電線
  - (3) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 5分	本時の目標を板書する。  許容電流について聞いたことがある・知っていることを質問し答えさせる。	目標をノートに書写する。  生徒は考え発表する。	目標を板書する。  許容電流について発問する。	
展開 40分	許容電流とはどのような電流か説明する。  例として600Vビニル絶縁電線の許容電流を板書する。  実際に電線を見せて説明し、電線の処分の仕方について考えさせる。(最初に個人で考えさせその後にグループで討論させる。)	ノートに書写する。  ノートに書写する。  電線の処分の仕方について個人で考え、グループで討論する。	許容電流について板書する。  許容電流を板書する。  プリントを配布して最初は個人で考えさせる。次に6人のグループを編成してグループで討論させる。	「知識・理解」  「知識・理解」  「思考・判断・表現」 「プリントの記入状況による」

	<p>グループごとに発表させる。</p> <p>電線の処分の仕方について確認させる。</p>	<p>グループでの考えを発表する。</p> <p>電線の処分の仕方について確認する。</p>	<p>グループでの考えを発表させる。</p> <p>電線の処分の仕方について確認させる。</p>	「知識・理解」
<p>終結</p> <p>5分</p>	<p>許容電流とはどのような電流か確認する。また電線の処分の仕方についても確認する。</p>	<p>許容電流と電線の処分の仕方を確認する。</p>	<p>許容電流と電線の処分の仕方を確認させる。</p>	「知識・理解」